

政務活動報告書

会派名 日本共産党

| 年 月 日 | 平成 30 年 4 月 16 日 ~ 平成 30 年 4 月 18 日 | | | | |
|--------------------------|---|----------|---|-------|---------|
| 場 所 (市外の場合は 行程を記入) | 大阪府保険医協会MDホール(大阪市) 青森空港 ~ 伊丹空港(大阪市2泊) ~ 青森空港 | | | | |
| 相手方 (会議名等) | 2018年度大阪社保協「全国地方議員社会保障研修会」 | | | | |
| 参加議員名 | 石田 久 | | | | |
| 活動の概要 | 別紙のとおり | | | | |
| | ※会議・研修資料等があれば、添付してください。 | | | | |
| 活動に要した経費 | 主な品目 | 政務活動費相当額 | | 領収書番号 | 支払証明書番号 |
| | 参加費 | 30,000 | 円 | 1 | |
| | 旅費 | 54,000 | 円 | 2 | |
| | 車賃 | 1,280 | 円 | 3,4 | |
| | 駐車料金 | 1,640 | 円 | 5 | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | 合計額 | 86,920 | 円 | | |
| 備 考 | (写真貼付等) 別紙のとおり | | | | |

2018年度弘前市議会会派日本共産党政務活動費研修会に参加して

石田 久

2018年4月16日～18日大阪にて大阪社保協「全国地方議員社会保障研修会」が開催され、全国から150人の地方議員が参加しました。3日間の日程

| 日時 | テーマ | 講師 |
|-----------------------|--|-----------------------------------|
| ① 4月16日 12時～15時 | 生活保護制度をめぐる動きと実務上の論点、自治体で取り組んでほしいこと～理論編・実践編 | 小久保哲郎先生 (弁護士・生活保護問題対策全国会議事務局長) |
| ② 4月16日 15時15分～18時 | 女性と子どもの貧困の現状と背景、自治体の課題とはなにか | 芦田麗子先生 (神戸親和女子大学教員) |
| ③ 4月17日 9時半～12時半 | 都道府県単位化後の国保の仕組みと自治体での課題を考える | 寺内順子先生 (大阪社会保障推進協議会事務局長) |
| ④ 4月17日 13時半～17時 | 地方財政の基本と財政分析のポイントを学ぶ | 高山新先生 (大阪教育大学教授) |
| ⑤ 4月18日 9時半～12時半 | 日本一の学校給食はなぜ可能なのか～宝塚市給食から自治体行政を考える | 高田輝夫先生 (兵庫県宝塚市教育委員会学事課長) |
| ⑥ 4月18日 13時半～17時 | 第7期介護保険制度の内容と自治体での課題 | 日下部雅喜先生 (大阪社保協介護保険対策委員長) |

第1日目は、第1講座「生活保護制度をめぐる動きと実務上の論点、自治体で取り組んでほしいこと」と題して小久保哲郎(弁護士)が講演しました。まずは、参考となる書籍類の「生活保護手帳・解釈と運用」「法律家・支援者のための生活保護マニュアル」などを紹介。生活保護法の基本原理については憲法25条「生存権」や生活保護法1条(国家責任の原理)と生活保護法2条(無差別平等の原理)を分かりやすく説明。申請・審査のプロセスについて、新政権の保障と行政機関の教示義務・助言義務など説明があり、民法上の扶養義務の有無及び程度、生活保護法63条返還請求権と同法78条徴収権などについて講演してくれました。

第2講座は、「女性と子どもの貧困の現状と自治体の課題」と題して、芦田麗子氏(神戸親和女子大学教員、シンママ大阪応援団)が講演をしました。DVとは夫婦や恋人など「親しい」関係において相手を支配するために手段として振るわれる暴力。女性が被害者になることが多い。喧嘩は対等な関係だが、DVは権力関係。相手に恐怖心を感じている場合はDVになる。女性に対する暴力の現状は、女性の約4人に1人は配偶者から暴力被害を受けたことがあり約10人に1人は何度も受けている。被害を受けた女性の約9人に1人は命の危険を感じた経験がある。配偶者から被害を受けた女性の約6割が「別れたい(別れよう)」と思っているが、別れることができたのはそのうちの約1割に過ぎない。DVを受けて別れたい、別れようと思ったが、夫と別れなかつた理由の1位が、子どもがいるから、子どものことを考えたからが65.8%。DVのサイクル理論。女性の貧困は社会問題にすらならない。シンママ大阪応援団を立ち上げ、シングルマザーとその子どもへの支援、離婚を考えている女性への支援、単身で貧困に苦しむ女性への支援、サポーター養成講座の実施など現在行っている。「シングルマザーをひとりぼっちにしないために」を行った。

2日目は、第3講座「都道府県単位後の国保と自治体の課題」と題して、寺内順子氏(大阪社会保障推進協議会事務局長)が講演しました。1. 日本は今、社会保障をどうしようとしているのか、2. 国民健康保険都道府県単位化とは何か、3. なぜ国は都道府県に医療費適正化をやらせたいのか、4. 国保会計はどう変わるのが、5. 2018年以降の保険料はどうなるのか、6. 全国の標準保険料はどうなったのか、7. 全国、都道府県ごとの2016年度及び2008年度以降の会計決算を見てみる、8. 自治体での課題について学びました。

第4講座は、「地方財政の基本と財政分析のポイント」と題して、高山新氏(大阪教育大学教授)より自治体財政の基礎と財政分析入門を学びました。最初、自治体とは…から始まり地方交付金とは…、地方財政計画について、歳出の状況、税収の動きは…、公共施設に係る費用は?二つの地方債、臨時財政対策債について、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について講演していただきました。特に、直面する課題について、1. 社会資本の維持、更新問題、2. 地方債への対応、3. 基金の積み上げの評価について詳しく報告され、公共施設に係る費用については、直接的な建設費用(建設費、改修費、修繕費、維持費)や運用のための費用(人件費、光熱水費、通信費)など関連事業コスト、どこの自治体も行われている課題について講演していただきました。

3日目は、第5講座は、「日本一の学校給食はなぜ可能なのか～宝塚市給食から自治体行政を考える」と題して、高田輝夫氏(宝塚市教育委員会学事課長)が講演を行いました。ちょうど3月に「子どもの元気育てる宝塚の学校給食」が出版され、義務教育9年間が直営自校方式の学校給食！子どもたちに「めっちゃうまい！」と好評で、市長自ら「日本一よ！」と自慢の給食のレシピと秘密のストーリーが明らかに！テキストを使って説明されました。自校式の場合、当然いいものという理解はありますが、残食の話は、ハッとさせられました。子どもたちの健やかな成長を願う、教育という観点からの給食はすごく感動しました。

第6講座は、「第7期介護保険制度の内容と自治体での課題」と題して、日下部雅喜氏(大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員長)が講演しました。1. 介護保険制度の概要と現状については、40歳以上約7300万人が支払う(うち65歳以上は約3300万人)、要介護・要支援認定者約600万人(65歳以上の18%程度)、サービス利用者約500万人となっており、介護保険の現状は重い家族の介護負担や介護費用の経済的負担、特養ホーム待機者(介護難民)、人材不足、確保困難(介護崩壊)の状況、2. 第7期の介護保険事業は地域包括ケアシステム強化法によって、負担増、自立支援、給付抑制迫る仕組み、病床再編、削減の受け皿、互助の押し付けとなっている。介護保険「卒業」がもたらす悲劇へあなたのまちが大東市と同じ失敗をしないためにが2018年3月に出版され、半年で要支援1が要介護5に、足指切断、寝たきりに！要支援者からサービス取り上げて第7期介護保険料は大幅値上げに！を紹介。3. 介護保険財政と介護保険料については、保険者機能強化推進交付金と評価指標問題など国保問題と同様自治体格差でもって交付金を狙うような仕組みを作ろうとしている。市町村が国追随の対応をしないように全国各地で取り上げてほしいと訴えていました。

3日間を通して、全国地方議員社会保障研修会は、基本一講座3時間と長丁場でしたが、あっという間の3時間でした。生活保護制度をめぐる問題では、弁護士より、具体的な事例を通しての講演、女性と子どもの貧困については、大学教員がシンママ大阪応援団で具体的に相談に乗り立ち上げている報告、国保都道府県単位問題は、2018年4月からスタートする中で何が問題か、地方財政問題では、基本を学び初心に帰りました。介護保険も2018年4月から新たな保険料の値上げと抑制のスタートですが、社会保障の削減がいたるところで具体的に提起していました。今回の研修会はとても意義があり、更に学んでいきたいです。以上



右より石田(私)その隣が寺内順子先生、高山新先生

2018年度大阪社保協「全国地方議員社会保障研修会」のご案内

日頃より、住民のくらしと命を守る議員活動にご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、大阪社会保障推進協議会（大阪社保協）では、議員の皆様の諸活動に必須となる社会保障制度に関する研修会を一昨年・昨年に引き続き企画いたしましたのでぜひご参加ください。

□各講座日程と内容（テーマは仮称）受付開始時間は16日は11時、17日・18日は9時です。

| 日程 | テーマ | 講師 |
|-----------------------|--|-------------------------------|
| ① 4月16日(月) 12時～15時 | 生活保護制度をめぐる動きと実務上の論点、自治体で取り組んでほしいこと～理論編・実践編 | 小久保哲郎先生(弁護士・生活保護問題対策全国会議事務局長) |
| ② 4月16日(月) 15時15分～18時 | 女性と子どもの貧困の現状と背景、自治体の課題とはなにか | 芦田麗子先生(親和女子大学教員) |
| ③ 4月17日(火) 9時半～12時半 | 都道府県単位化後の国保の仕組みと自治体での課題を考える | 寺内順子先生(大阪社会保障推進協議会事務局長) |
| ④ 4月17日(火) 13時半～17時 | 地方財政の基本と財政分析のポイントを学ぶ | 高山新先生(大阪教育大学教授) |
| ⑤ 4月18日(水) 9時半～12時半 | 日本一の学校給食はなぜ可能なのか～宝塚市給食から自治体行政を考える | 高田輝夫先生(兵庫県宝塚市教育委員会学事課長) |
| ⑥ 4月18日(水) 13時半～17時 | 第7期介護保険制度の内容と自治体での課題 | 日下部雅喜先生(大阪社保協介護保険対策委員長) |

□会場 大阪府保険医協会 MDホール アクセス <https://osaka-hk.org/access>

□対象 全国都道府県・市町村議員

□規模 150人(入金順で登録します。昨年振込の約束をしていて結局振り込みますキャンセルしてこられた方が
何人もおられましたので、今回、振込予約はお断りいたします)

□申し込み 下記講座申し込み用紙記入の上 faxまたはメールにてお申し込みください。

□研修参加費 30,000円(部分参加費はなし。昼食代は含まれておりませんので各自おねがいします)

□ホテル等は各自で手配をお願いします。大阪では現在ホテルの手配が大変難しくなっています。ホテル手配等
ご希望があれば国際ツーリストビューローに直接ご相談ください。 Tel)078-351-2110 担当)大村

□振込先 郵便振替口座 00970-5-30475 加入者名 大阪社会保障推進協議会

通信欄に「議員研修会参加費」とお書きいただき領収書の宛名・日付等書き方を正確にお知らせ下さい。入金
確認次第領収書を送付いたします。4月1日以降キャンセルお受けしません。

□大阪社会保障推進協議会 fax/06-6357-0846 メール osakasha@poppy.ocn.ne.jp

問い合わせはfaxまたはメールでお願いいたします。

2018年度大阪社保協「全国地方議員社会保障研修会」申込書

ふりがな

(あいうえお順で名簿整理しますので必須)

☆氏名

☆都道府県名

☆市町村名

☆政党名

☆連絡先(領収書等こちらからの文書送り先となりますのでもれなく明記してください)

住所〒

都道府県

区・市・町・村

TEL

携帯TEL

Fax

メールアドレス

政務活動報告書

会派名 日本共産党

| 年月日 | 平成30年7月23日～平成30年7月24日 | | | | |
|----------------------|--|----------|---|-------|---------|
| 場所 (市外の場合には行程を記入) | 衆議院第二議員会館、参議院議員会館 弘前駅～新青森駅～東京駅～国會議事堂前駅～赤坂駅(港区1泊)～国會議事堂前駅～永田町駅～有楽町駅～東京駅～新青森駅～弘前駅 | | | | |
| 相手方 (会議名等) | 津島淳 衆議院議員、大島理森 衆議院議員、木村次郎 衆議院議員、江渡聰徳 衆議院議員、高橋千鶴子 衆議院議員、田名部匡代 参議院議員、滝沢求 参議院議員 | | | | |
| 参加議員名 | 千葉浩規 | | | | |
| 活動の概要 | 別紙のとおり | | | | |
| | ※会議・研修資料等があれば、添付してください。 | | | | |
| 活動に要した経費 | 主な品目 | 政務活動費相当額 | | 領収書番号 | 支払証明書番号 |
| | 鉄道賃 | 33,660 | 円 | 10 | |
| | 宿泊費 | 11,420 | 円 | 11 | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | 合計額 | 45,080 | 円 | | |
| | | | | | |
| 備考 | (写真貼付等) 別紙のとおり | | | | |

平成 30 年度 7 月 24 日、りんご黒星病に係る陳情に参加しての報告書

会派「日本共産党」千葉 浩規

今回、弘前市議会では、会派の垣根を越え、一丸となって、国政レベルでのりんご黒星病対策を求めて、政府や国会議員に働きかけることになり、私もその一人として加えていただきました。

7月 24 日、私も含めた、先発隊となった弘前市議 7 名が青森県選出の衆参合わせて 7 名の国会議員の議員会館の各部屋を回り陳情を行いました。国会議員、秘書に対応していただき、どこも大変心強いご返事を頂きました。特に、江渡聰徳議員(自民)、高橋千鶴子議員(共産)、木村次郎議員(自民)には直接、要望書を手渡し、清野一栄議員より詳しい現状と要望の説明がありました。

今回の陳情で、各国会議員のみなさん全員、りんご黒星病対策で必ず力になつていただけると確信しました。



自由民主党

政務調查會長代理

衆議院議員 江渡聰徳

衆議院議員
國会事務所 江渡聰徳



國會事務所
秘書露木正高

〒100-1893 所住 東京都千代田区永田町二十一一二
衆議院第二議員会館一〇二一号室
TEL 〇三一三五〇八一七〇九六
FAX 〇三一三五〇八一三九六一
携帯

衆議院議員



木村次郎

東京都千代田区永田町二一〇一室
衆議院第二講堂会館八〇七(直通)
電話〇三(三五八二)五一一一内線七〇八〇九
青森県弘前市親方町四三三二二
電話〇一七二(三六)八三三二

衆議院議員 木村次郎

秘書村田尚也

日本共産党 衆議院議員
Japanese Communist Party
member, House of Representatives

高橋 千鶴子 *Chizuko Takahashi*

facebook.

政務活動報告書

会派名 日本共産党

| 年月日 | 平成30年8月27日～平成30年8月28日 | | | | |
|----------------------|---|----------|---|-------|---------|
| 場所 (市外の場合には行程を記入) | 厚生労働省 弘前駅～新青森駅～東京駅～国會議事堂前駅～赤坂駅(港区1泊)～霞ヶ関駅～東京駅～新青森駅～弘前駅 | | | | |
| 相手方 (会議名等) | 宮崎雅則 生活衛生・食品安全審議官 | | | | |
| 参加議員名 | 石田 久 | | | | |
| 活動の概要 | 別紙のとおり | | | | |
| | ※会議・研修資料等があれば、添付してください。 | | | | |
| 活動に要した経費 | 主な品目 | 政務活動費相当額 | | 領収書番号 | 支払証明書番号 |
| | 鉄道賃 | 33,660 | 円 | 13 | |
| | 宿泊費 | 9,420 | 円 | 14 | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | 合計額 | 43,080 | 円 | | |
| 備考 | (写真貼付等) 別紙のとおり | | | | |

平成30年度8月28日 リンゴ黒星病にかかる
陳情に参加しての報告書

会派「日本共産党」石田 久

今回、弘前市議会では、6名の市会議員が津軽地方でりんご黒星病が多発傾向にあることを受け、28日厚生労働省を訪れ、新たな薬剤について、試験や審査手続きを優先するように陳情しました。

宮寄雅則生活衛生食品安全審議官への要望には市会議員6名に加え、木村次郎衆議員が参加しました。宮寄審議官は「内閣府や農林水産省など関係機関と連携し、しっかりと取り組みたい」と述べました。

今回の陳情で、厚生労働省に対し、直接訴え、新たな薬剤への登録申請のあった場合は、安心安全に早期に対応するように要望をしました。



宮寄審議官（左から4人目）に要望書を手渡す工藤議員（同3人目）

リンゴ黒星病
新たな薬剤の
優先審査要望
津軽地方でリンゴ黒
星病が多発傾向にある
ことを受け、弘前市議
会（下山文雄議長）は
28日、厚生労働省を訪
れ、農業メーカーが開
発している新たな薬剤

**黒星病新規薬剤
早期登録を要望**
弘前市議会、厚労省に
弘前市議会は28日、厚生
労働省に対して、津軽地方を
中心に発生したリンゴの黒
星病対策として、新規薬剤
の早期登録に向けた試験・
審査の優先的な実施を要望
した。

国交省を訪れた工藤光志
市議ら6人は「有効な薬剤
がない中で、農家は苦労し
ている。1日も早い新規登
録をお願いする」と話し、
宮寄審議官生活衛生・食品安

全審議官に要望書を手渡し
地を守る意義も理解し
てもらっていた」とし
た。

非公開の面談後、取材に
応じた工藤市議は出席者に
よると、薬剤を開発したメ
ーカーから登録申請があつ
た場合、通常の手続きは少
なくとも1年かかるが、で
きるだけ早期に対応するよ
う努力したいとの話があ
ったという。要望活動には
木村次郎衆院議員が同行。
下山文雄議長ら別の市議グ
ループは本県国會議員に対
しても同様の要望を実施し
た。

（行方知代）

宮寄審議官（左から4人目）
に要望書を手渡す弘前市議
たち

について、試験や審査
手続きを優先するよう
求めた。
宮寄雅則生活衛生・
食品安全審議官への要
望には、工藤光志議員
ら市議6人に加え、木
村次郎衆院議員（本県
）とだつた。リンゴの産

3区）が参加した。
要望後、工藤議員は
「審議官によれば食品
衛生法に基づく審査
は通常1年かかるが、
集中的に行えば5、6
ヶ月でできるとのこ
とだつた。（石黒全）

この日は下山議長ら
も県選出国會議員事務
所を訪れ、黒星病対策
への支援を要望した。

（石黒全）

政務活動報告書

会派名 日本共産党

| 年月日 | 平成30年8月28日～平成30年8月29日 | | | | |
|---------------------|---|----------|---|-------|---------|
| 場所 (市外の場合は行程を記入) | 衆議院第二議員会館、参議院議員会館、ひろさき移住サポートセンター東京事務所 弘前駅～新青森駅～東京駅～有楽町駅～永田町駅～国会議事堂前駅～赤坂駅(港区1泊)～国会議事堂前駅～銀座駅～有楽町駅～東京駅～新青森駅～弘前駅 | | | | |
| 相手方 (会議名等) | 津島淳 衆議院議員、大島理森 衆議院議員、木村次郎 衆議院議員、江渡聰徳 衆議院議員、高橋千鶴子 衆議院議員、田名部匡代 参議院議員、滝沢求 参議院議員 野呂智子 ひろさき移住サポートセンター東京事務所長 | | | | |
| 参加議員名 | 越 明男 | | | | |
| 活動の概要 | 別紙のとおり | | | | |
| | ※会議・研修資料等があれば、添付してください。 | | | | |
| 活動に要した経費 | 主な品目 | 政務活動費相当額 | | 領収書番号 | 支払証明書番号 |
| | 鉄道賃 | 33,660 | 円 | 15 | |
| | 宿泊費 | 10,920 | 円 | 16 | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | 合計額 | 44,580 | 円 | | |
| 備考 | (写真貼付等) 別紙のとおり | | | | |

国会陳情行動に参加して
越文書

一、

この8月の末に、度重なる市議会全体行動の一つである「黒星病対策」の、国会要請、並びに陳情行動に参加をしました。

青森県選出の、すべての衆議院議員、参議院議員に各部屋を訪問し、要請をしたところです。

この間の、青森県全体の世論や、関係諸団体の取り組みなどもあって、私たちの要請、陳情行動には、明確にその賛意を寄せていただいたものと、私は理解をしました。

また、次の日、ひろさき移住サポートセンター東京事務所を訪問し、事業の概要について説明を受けてきました。

今後は、弘前市議会の一員として、市議会の内外での私なりの奮闘を誓って、帰路につきました。

同行を共にした、下山議長をはじめとする、議員諸侯の皆さんご苦労様でした。

二、

私なりに、この間の「黒星病対策の取り組み」の中で、二つほど感じていることがあります。

その点を述べながら、今回の行動参加にあたっての、レポートを閉じます。

第一、「黒星病対策」は、関係機関で真剣に研究、分析がされたのか。

「黒星病」は、古くて新しい問題です。

ここ2、3年は、弘前市でも、関連町村でも話題に、大きく取り上げられました。

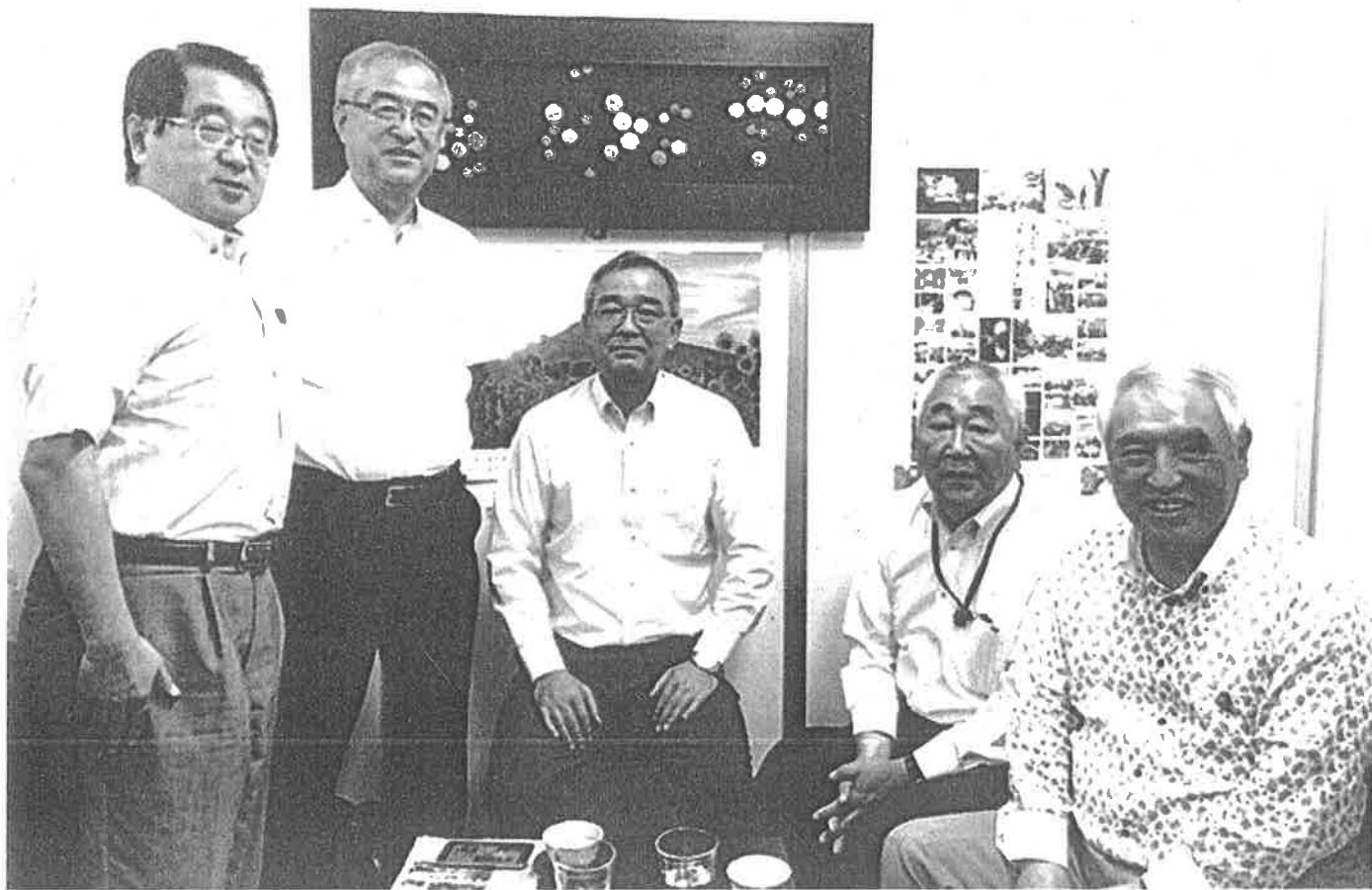
が、いまだに、「黒星病対策」に、有効な「薬等の開発」がされていません。

この責任は、どこにあるのでしょうか。

第二、市町村が（当市を含めて）、議会関係者と「黒星病対策」に、一生懸命なのに、なぜか、政府及び青森県からは、「危機感」が伝わってきません。

対策が、以前と違ってはいませんか。

責任の所在を、すべて、自己責任すなわち、農家経営者個人または土地所有者に転嫁してはいませんか。



政務活動報告書

会派名 日本共産党

| 年月日 | 平成30年11月11日～平成30年11月13日 | | | | |
|---------------------|--|----------|---|-------|---------|
| 場所 (市外の場合は行程を記入) | JA長野県ビル(長野市) 弘前駅～新青森駅～大宮駅～長野駅(長野市2泊)～大宮駅～新青森駅～弘前駅 | | | | |
| 相手方 (会議名等) | 第45回市町村議会議員研修会in長野 | | | | |
| 参加議員名 | 越 明男、石田 久 | | | | |
| 活動の概要 | 別紙のとおり | | | | |
| | ※会議・研修資料等があれば、添付してください。 | | | | |
| 活動に要した経費 | 主な品目 | 政務活動費相当額 | | 領収書番号 | 支払証明書番号 |
| | 受講料 | 60,000 | 円 | 18,19 | |
| | 参加費振込手数料 | 756 | 円 | 20 | |
| | 鉄道賃 | 79,480 | 円 | 22 | |
| | 宿泊費 | 51,980 | 円 | 23 | |
| | | | 円 | | |
| | | | 円 | | |
| | 合計額 | 192,216 | 円 | | |
| 備考 | (写真貼付等) 別紙のとおり | | | | |

2018. 11. 30

会派日本共産党市議団

代表 越 明男

第45回市町村議会議員研修会イン長野報告

1、出張概要

- 1) 11月12日から13日まで開催の、自治体研究社主催の第45回市町村議会議員研修会に、同月11日から、13日までの3日間、会派日本共産党の市議、越明男と石田久が参加したものである。
- 2) 12日と、13日のタイムスケジュールは次のようなものであった。
*12日 全体会
記念講演 自治体はどのような少子化対策を進めるべきか
講師中山徹（奈良女子大大学院教授）
特別講演 「住民自治の根幹」としての議会力・議員力の発揮へ
講師寺島涉（元長野県飯綱町議会議長）
全体会には、越明男、石田久市議が終日参加、研修した。
(個々の感想レポートは、別紙にて。)
*13日 三選科
自治体アウトソーシング・PFIと水道の民営化・広域化
講師 尾林芳匡弁護士
越明男市議参加した。
介護保険・医療保険制度の現状と課題
講師 石川満（元日福大学教授）
石田久市議が参加した。
ほかに、「災害への備えに何が必要か」の、選科も設けられた。
講師は、塩崎賢明氏（神戸大名誉教授）
(両市議の参加感想は、別紙にて)
- 3) 二日間、私たちは、全国の仲間諸氏と交流も行い、今研修で学んだり、交流したことを、各市町の持ち帰り、奮闘すること誓い合って、散会した。
自治体研究社には、日ごろの議員活動を理論面で支えてくれているだけでも、ただただ感謝申し上げたい。
また、参加にあたり事務的処理をお願いした議会事務局員のもお礼を述べる。

2、越明男市議レポート

*全体会

中山氏は、私が初めて講師としての、講義を受けた時は、土建国家批判や談合問題を取り上げていた。

最近は、もっぱら「少子高齢化」問題の専門家と、なった感がある。

今回も「人口減少時代の自治体政策」の書籍を、最近出版されたばかりである。

中山氏は、「子ども・子育て支援新制度」と題して講演をし、政府の勧める、「支援制度」への体系的批判を、挑んでくれたと、思う。

また、元町議会議長の、寺島氏の講演は実践に裏付けされた、すばらしい実践レポートであった。

年代が、私とほぼ重なり、かつての「学生運動経験者」であったことも、親近をもって臨むことが出来たものである。

今後の、議員・議会活動に大いに参考したい。

*選科

今回の参加は、この講師・この選科が引き金であった。

尾林先生とは、これで三回目のご対面であった。

市議会での、質問を振りかえると、市民課窓口民間委託業務、図書館指定管理、PFI 吉野町整備事業等は、すべて、理論的支えは尾林先生の出版物であった。

水道問題の、広域化や民営化が話題ともなった。

先の市議会質問の経験が、大いに参考となった。

第45回市町村議会議員研修会in長野に参加して

2018年11月12日（月）、13日（火）に長野市にて「第45回市町村議会議員研修会in長野」に越明男、石田久の2名が参加しました。今回は、「特別講演」、「選科」の選択肢を行う中で、テーマとしては「自治体の少子化対策」や「議会力・議員力」、「災害への備え」、「自治体アウトソーシングと水道」、「高齢者医療福祉」を取り上げられ、全体で約170名の議員が参加しました。

| | | 演題など |
|-------|----------------|---|
| 11/12 | 記念講演 越、石田参加 | 自治体はどのような少子化対策を進めるべきか（講師：中山徹奈良女子大学教授） |
| 11/12 | 特別講演 越、石田参加 | 「住民自治の根幹」としての議会力・議員力の発揮へ（講師：寺島涉長野県飯綱町前議長） |
| 11/13 | 選科B 越議員参加 | 自治体アウトソーシング・PFIと水道の民営化・広域化（講師：尾林芳匡弁護士） |
| 11/13 | 選科C 石田議員参加 | 介護保険・医療保険制度の現状と課題（講師：石川満元日本福祉大学教授） |

1日目の記念講演は、「自治体はどのような少子化対策を進めるべきか」中山徹奈良女子大学教授より講演され、1. 少子化をめぐる状況、2. 子ども・子育て支援新制度、3.『再編』の第2弾としての幼児教育無償化、4.『再編』の第3弾としての待機児童解消、5. 地域、自治体の『再編』でどう変わらのか、6. 再編の展望と行政責任についてわかりやすく説明がありました。今自治体で議論すべき喫緊の課題を学び、展望しました。

1日目の特別講演は、「住民自治の根幹」としての議会力・議員力の発揮へ寺島涉長野県飯綱町前議長より、10年間の議会改革の取り組みの経過と前進、特に新しい地方議会づくりの3つの柱

- ①追認機関から脱し議会の役割と責任を果たす
- ②「チーム議会」としての政策力を向上させ、町長と競争する
- ③議会への住民参加をひろげ、住民の自治意識を高め、議会活動を「見える化」する具体的な実践が学ばされました。

2日目は選科B 自治体アウトソーシング・PFIと水道の民営化・広域化

尾林芳匡弁護士より、民営化・広域化が地域に何をもたらすのか、地域の実情に明るくないコンサルタント等に計画立案を任せて大丈夫なのか。地域の実情に応じた給水・更新・財政計画の立案に向けて自治体に求められていることは何か。弘前市議会でも質問しましたが、さらに学ばされました。

2日目は選科C 介護保険・医療保険制度の現状と課題と題して石川満元日本福祉大学教授より、2017年度までにすべての都道府県で「地域医療構想」

が策定され、医療圏毎の調整会議も開始されています。高齢者の入院は、より困難になり、在宅医療、介護、福祉がないと地域生活ができない。2018年度は「地域包括ケア」をキーワードとする診療報酬・介護報酬が一体的に改正され、第7期介護保険事業計画が行われ、これらの動向とその課題について学びました。



特別講演

「住民自治の根幹」として
の議会力・議員力の發揮へ

講師
長野県飯綱町前町議會議長

寺島 渉

第45回市町村議会 課員研修会

in 長野

12月議会を前に、
「政策立案力」を磨きます。

黒姫高原のコスモス 写真提供：長野県観光機構

2018年11月12日(日)・13日(月)

会場：JA長野県ビル (JR長野駅徒歩10分)

〒380-0826 長野県長野市大字南長野北石堂町1177番地3
TEL 026-236-3600 / FAX 026-236-3525

1

日 全体会 13:00～18:00 (質疑・休憩含む)

11月12日(日)

記念講演 13:00～16:00

自治体はどのような少子化対策を
進めるべきか

中山 徹

奈良女子大学生活環境学部教授



子ども・子育て支援新制度・公共施設等総合管理計画が地域に何をもたらしたのか。幼児教育無償化、待機児童対策、保育所や幼稚園の統廃合・認定こども園化、民営化・指定管理者制度への対応を中心に現状と課題を解説し、自治体の役割やあり方を考えます。いま自治体で議論すべき喫緊の課題を学び、展望しましょう。

特別講演：議会改革 16:20～18:00

「住民自治の根幹」としての
議会力。議員力の發揮へ

寺島 渉

長野県飯綱町前町議会議長



10年間の議会改革の取り組みの経過と前進、特に新しい地方議会づくりの3つの柱—①追認機関から脱し議会の役割と責任を果たす。②「チーム議会」として政策力を向上させ、町長と善政競争をする。③議会への住民参加を広げ、住民の自治意識を高め、議会活動を「見える化」する—の具体的実践をお話します。



紅葉の松代城 六文銭の里信州まつしろ(長野市) 写真提供：長野県観光機構

2

日 選科Bコース 9:30～15:30 (質疑・休憩含む)

11月13日(月) 選科A・B・Cのいずれかをお選びいただきます。

選科A ● 防災・減災

災害への備えに何が必要か

—予防・応急対応と復旧・復興・生活支援—

塩崎 賢明

神戸大学名誉教授



毎年のように地震、豪雨、土砂災害などが相次いでいます。災害大国日本では絶対安全という地域はありません。被害を最小限に抑えるためには、事前の防災対策や避難・消火・救命救急などの応急対応が重要であることは言うまでもありませんが、それだけでなく、命が助かったあと、復旧・復興を進め、被災者が首尾よく生活再建できるための備えが大変重要です。

選科B ● アウトソーシング・水道

自治体アウトソーシング・PFUと
水道の民営化・広域化

尾林 芳匡

八王子合同法律事務所弁護士
(水道・PFUなどアウトソーシング関連著作多数)



民営化・広域化が地域に何をもたらすのか、地域の実情に明るくないコンサルタント等に計画立案を任せて大丈夫なのか。地域の実情に応じた給水・更新・財政計画の立案にむけて自治体にもとめられていることは何か。清浄低廉豊富な「いのちの水」を守るために水道法「改正」のなかみを、いま知ることが重要です。

選科C ● 高齢者医療福祉

介護保険・医療保険制度の現状と課題

石川 満

元日本福祉大学社会福祉学部教授
多摩住民自治研究所副理事長



2017年度までにすべての都道府県で「地域医療構想」が策定され、医療圈ごとの調整会議も開始されています。高齢者の入院は、より困難になり、在宅医療・介護・福祉がないと地域生活ができません。2018年は「地域包括ケア」をキーワードとする診療報酬・介護報酬が一体的に改正され、第7期介護保険事業計画も動き出しました。これらの動向とその課題について、検証します。

第45回市町村議会 議員研修会 in 長野

2018年 11月12日(月)・13日(火) JA長野県ビル

参加申し込み

以下の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送でお申し込みください。

●定員 180名(2日間通し参加のみ)*ご送金いただいた順に受付完了とさせていただきます。

●受講料 市区議会議員:30000円／同会員:28000円

町村議会議員:20000円／同会員:18000円

議会事務局・一般:18000円／同会員:15000円 *キャンセル料=11月5日以降は
10,000円を申し受けます。
※「会員」は自治体問題研究所の個人会員

●ご宿泊 お泊まりにつきましては、恐れ入りますがご自身でご手配ください。

●お弁当(希望者のみ)1,000円(=11月13日昼食、11月5日以降はご返金できません。) ※受講料・お弁当代はいずれも税込み。

受講のお申し込みの流れ

①下記の参加申込書に、必要事項をご記入ください。複数名でお申し込みの場合は、お手数でもコピーの上、別々にご記入ください。

②参加申込書を、FAXまたは郵便でお送りください。ホームページからもお申し込みいただけます。

また、必要事項を電子メールにご記入いただいたお申し込みも承ります。

申込先 (株)自治体研究社・第45回議員研修会係 〒162-8512 東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4F

FAX 03-3235-5933 TEL 03-3235-5941 E-mail: info@jichiken.jp

ホームページ: <http://www.jichiken.jp/>

③折り返し、1週間以内に「申込確認書(お振り込みのご案内)」をFAXまたは電子メールでお送りします。

「申込確認書(お振り込みのご案内)」を受け取られた後、参加費を下記の銀行口座にお振り込みください。

お振り込みの確認をもちまして正式な受付となります。恐れ入りますが振込手数料はお申し込み者様にてご負担ください。

銀行口座 三菱UFJ銀行新宿通支店(支店番号050)

普通預金 No.0006815 名義「株式会社自治体研究社 研修会口」

*ご送金の際は、「申込確認書(お振り込みのご案内)」でお伝えします「受付番号」をお名前の前にご入力ください。

(例 個人の場合:123ジチタイクロウ 議員団等複数人まとめての場合:123.124〇〇〇ギインダン)

④お振り込みを確認し、入金確認書をFAXまたは電子メールでお送りします。研修会の約1週間前に領収証、参加票を郵送でお送りします。

⑤参加申込書を提出後にキャンセルをされる場合、お振り込みの前後にかわらず、FAXまたは電子メールにてキャンセルの旨をご連絡ください。

| 第45回市町村議会議員研修会in長野 参加申込書 自治体研究社(FAX03-3235-5933) | | |
|--|-------|---|
| フリガナ | 性別 | <input type="checkbox"/> 個人会員である <input type="checkbox"/> 個人会員ではない |
| 氏名 | | |
| 領収証の宛名 | 2日目昼食 | <input type="checkbox"/> 弁当を注文する <input type="checkbox"/> 弁当は注文しない |
| 領収証の送付先 〒 | 受講料 | 円 2日目昼食 円 |
| 合計 円 | | |
| 選科の希望 <input type="checkbox"/> A(防災・減災) <input type="checkbox"/> B(アウトソーシング・水道) <input type="checkbox"/> C(高齢者医療福祉) | | |
| 自治体名 | 都道府県 | 市区町村 ()期目 |
| 今回の研修会で特に聞きたい点(簡潔にお書きください) | | |

会場へのアクセス

JA長野県ビル

〒380-0826 長野市大字南長野北石堂町1177番地3

TEL 026-236-3600/FAX 026-236-3525

●JR長野駅から徒歩10分。

●お車でお越しの場合/長野インターまたは須坂長野東インターから車で30分。会場に有料駐車場がございます。

